

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2022 年 第 5 週（1月31日~2月6日）

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

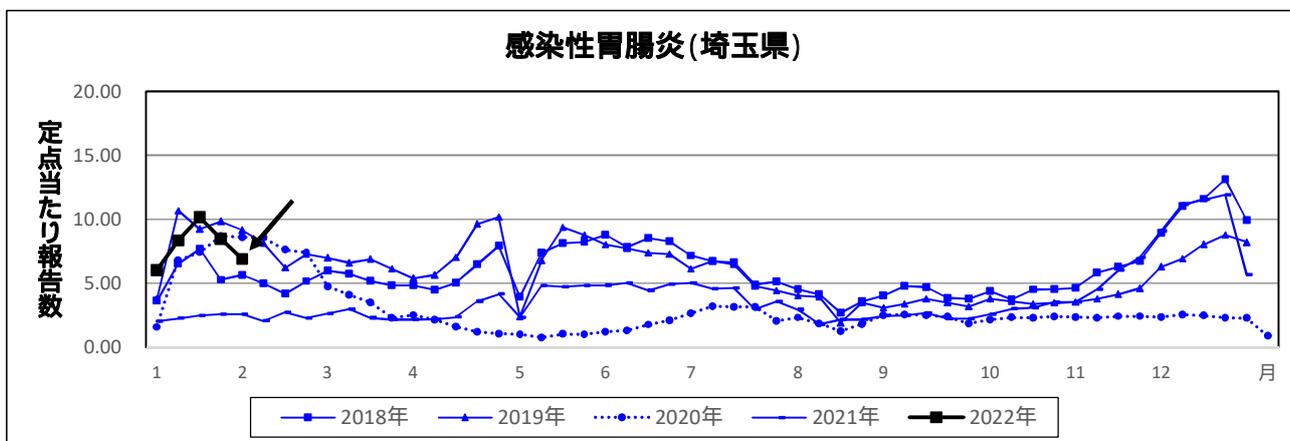
一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1人 類型 患者、 血清型 O26
四類感染症 レジオネラ症	1人 病型 肺炎型
五類感染症 カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1人 菌種 <i>Serratia</i> sp.
侵襲性肺炎球菌感染症	2人
梅毒	4人 病型 早期顕症 期 3人、 無症状病原体保有者 1人

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

小児科及び内科定点把握対象疾患では、**感染性胃腸炎**(8.48 6.91:下図) の定点当たり報告数は、前週より減少したものの、今しばらく動向に注意が必要である。保健所別では、春日部(19.67 18.67)、南部(9.75 14.00)、川口市(12.92 12.00)保健所管内で多い状態が続いている。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 2人、**流行性角結膜炎** 7人の報告があった。基幹定点報告疾患の報告はなかった。



- この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、衛生研究所 感染症疫学情報担当
TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp まで御連絡ください。
- 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsct.html>) で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第5週)

(2022年2月8日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2021年 累計		今週 届出	累 計	2021年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 * 1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢				パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	1	1	136				
四類感染症							
E型肝炎		1	36	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			2	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	3	99
つつが虫病			3	レプトスピラ症			1
デング熱				ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢			20	侵襲性肺炎球菌感染症	2	6	57
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			10	水痘(入院例に限る)		1	15
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	4	95	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	4	25	286
急性脳炎		1	20	播種性クリプトコックス症			10
クリプトスポリジウム症				破傷風			3
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		3	30	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		1	28	百日咳		1	49
ジアルジア症			4	風しん			1
侵襲性インフルエンザ菌感染症			6	麻しん			1
侵襲性髄膜炎菌感染症				薬剤耐性アシネトバクター感染症			
新型インフルエンザ等感染症				新型コロナウイルス感染症 * 2			

累計は診断日で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

* 2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2022年第5週 1月31日～2月6日)

	合計 -6ヵ月-12ヵ月 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10-14 15-19 20-29 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 80~																		
	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	7	2	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	23	-	1	6	4	6	2	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-
咽頭結膜熱	32	-	-	6	2	2	-	3	1	1	3	2	6	2	4	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,078	8	38	172	151	140	104	82	60	58	38	41	94	12	80	-	-	-	-
感染性胃腸炎	8	-	-	-	2	-	2	-	1	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-
水痘	10	1	-	3	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	5	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	36	1	8	20	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	4	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	1	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~			
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第3週 (1月17日～1月23日)

令和4年2月9日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位2位は岡山県(0.05)、静岡県(0.04)、高知県(0.04)、長崎県(0.04)、鹿児島県(0.04)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は2例と前週と同値であった。都道府県別では2県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、40代(1例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(5.14)、宮崎県(3.64)、熊本県(3.06)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.83)、福井県(0.57)、石川県(0.55)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.67)、鳥取県(2.32)、福岡県(2.11)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(18.83)、山形県(18.24)、宮崎県(12.89)である。手足口病の定点当たり報告数は第47週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は島根県(3.35)、鹿児島県(2.40)、鳥取県(1.79)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位2位は福井県(0.39)、群馬県(0.06)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は新潟県(0.54)、鳥取県(0.37)、富山県(0.34)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は千葉県(0.12)、宮崎県(0.08)、鹿児島県(0.07)、山形県(0.07)である。

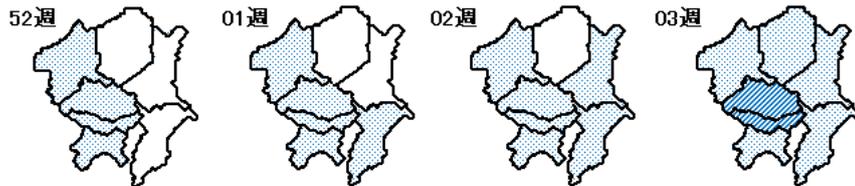
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福島県(0.14)、千葉県(0.11)、宮城県(0.08)、茨城県(0.08)から報告があった。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。4県から4例報告があり、年齢別では0歳(1例)、5～9歳(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2022年 第3週(1月17日～1月23日): 通巻第24巻 第3号 より

<関東情報>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、埼玉県(10.15)、東京都(10.06)からの報告が多い。

感染性胃腸炎



2022年 03週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	69	13	-	-	-	1	3	3	6
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.00	0.01	0.01	0.02
RSウイルス感染症	報告数	1,566	51	6	2	14	9	2	12	6
	定点当たり	0.50	0.05	0.08	0.04	0.26	0.06	0.02	0.05	0.03
咽頭結膜熱	報告数	626	110	7	3	12	24	27	20	17
	定点当たり	0.20	0.12	0.09	0.06	0.22	0.15	0.21	0.08	0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,811	344	28	23	63	36	53	62	79
	定点当たり	0.58	0.37	0.37	0.48	1.17	0.23	0.42	0.25	0.37
感染性胃腸炎	報告数	25,181	7,801	474	187	400	1,624	1,068	2,526	1,522
	定点当たり	8.04	8.39	6.32	3.90	7.41	10.15	8.48	10.06	7.05
水痘	報告数	292	70	4	4	2	15	10	20	15
	定点当たり	0.09	0.08	0.05	0.08	0.04	0.09	0.08	0.08	0.07
手足口病	報告数	1,005	184	8	31	4	40	14	49	38
	定点当たり	0.32	0.20	0.11	0.65	0.07	0.25	0.11	0.20	0.18
伝染性紅斑	報告数	48	14	1	-	3	4	-	3	3
	定点当たり	0.02	0.02	0.01	-	0.06	0.03	-	0.01	0.01
突発性発しん	報告数	932	264	11	22	20	54	39	61	57
	定点当たり	0.30	0.28	0.15	0.46	0.37	0.34	0.31	0.24	0.26
ヘルパンギーナ	報告数	236	48	5	2	7	7	3	7	17
	定点当たり	0.08	0.05	0.07	0.04	0.13	0.04	0.02	0.03	0.08
流行性耳下腺炎	報告数	76	38	1	2	2	6	15	8	4
	定点当たり	0.02	0.04	0.01	0.04	0.04	0.04	0.12	0.03	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	3	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.00	-	-	-	0.03	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	114	49	6	5	3	9	7	7	12
	定点当たり	0.17	0.24	0.35	0.42	0.21	0.24	0.21	0.18	0.24
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	10	2	-	-	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.09	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	4	2	1	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	0.08	-	-	-	0.11	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

1月に採取された新型コロナウイルス感染症の検体は、8328検体（8323症例）採取され、1124検体（1124症例：一部陰性確認を含む）から新型コロナウイルスが検出されました。

細菌検出状況

令和4年1月31日現在

病原体名	分離月	1月	備考（1月分）
五類 溶血性レンサ球菌（劇症型）		1	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i> : 1

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

新型コロナウイルス感染症等感染症 令和4年2月2日 現在（累計：令和4年1月～）

臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数			累計
		1月	2月	3月	
新型コロナウイルス感染症	検体数	8328			8328
	新型コロナ	1124			1124

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ

令和4年2月2日 現在（累計：令和4年1月～）

臨床診断名	採取月	採取月												累計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
インフルエンザ	検体数	1													1
	インフルエンザ AH1pdm09														
	インフルエンザ AH3														
	インフルエンザ B														

五類定点把握対象疾患（季節性インフルエンザを除く）

令和4年2月2日 現在（累計：令和4年1月～）

臨床診断名	採取月	採取月												累計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
感染性胃腸炎	ウイルス	15													15
	検体数	9													9
	ノロ	5													5
	サボ														
	アストロ	1													1
	ロタ（A）	1													1
ヘルパンギーナ	検体数	1													1
	コクサッキー A4														
	コクサッキー A6														
流行性角結膜炎	検査中	1													1
	検体数	1													1
	アデノ 37														
	アデノ 54														
無菌性髄膜炎	アデノ 64														
	検体数	4													4
	検査中	4													4

トップページ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2022年 > 感染症の流行状況 2022年 第5週

感染症発生動向調査
2022年

▶ [感染症の流行状況 2022年 第1週](#)

▶ [感染症の流行状況 2022年 第2週](#)

▶ [感染症の流行状況 2022年 第3週](#)

▶ [感染症の流行状況 2022年 第4週](#)

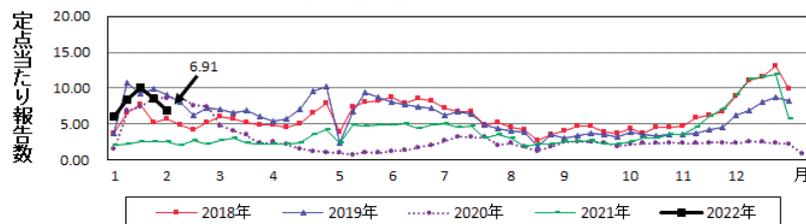
感染症の流行状況 2022年 第5週

2022年第5週（1月31日～2月6日）の要点 令和4年2月9日

[感染性胃腸炎](#)の定点当たり報告数は、前週より減少したものの、今しばらく動向に注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

感染性胃腸炎(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン